

京城日報

二月三日 夕刊 第八頁

講和會議經過 重要問題不提唱

二月三日 夕刊 第八頁

殖民地論議忌避

二月三日 夕刊 第八頁

代表者派遣反對

二月三日 夕刊 第八頁

勞働派機關紙禁止

二月三日 夕刊 第八頁

晚香坡東洋人排斥

二月三日 夕刊 第八頁

製艦可決延期

二月三日 夕刊 第八頁

博邦公本夜著

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露妥協勸告

二月三日 夕刊 第八頁

平元線敷設內議

二月三日 夕刊 第八頁

國際勞動問題

二月三日 夕刊 第八頁

英國附與反對

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露妥協勸告

二月三日 夕刊 第八頁

平元線敷設內議

二月三日 夕刊 第八頁

國際勞動問題

二月三日 夕刊 第八頁

英國附與反對

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露妥協勸告

二月三日 夕刊 第八頁

平元線敷設內議

二月三日 夕刊 第八頁

國際勞動問題

二月三日 夕刊 第八頁

英國附與反對

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露最後斷案

二月三日 夕刊 第八頁

對露妥協勸告

二月三日 夕刊 第八頁

平元線敷設內議

二月三日 夕刊 第八頁

朝鮮電報對平壤電氣協調

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

米穀價格如何

二月三日 夕刊 第八頁

土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品
朝鮮布特約店
朝免許船燈所
製作販賣所
旗印石油和販賣所

仁川一町二丁目
村谷本店
電話五十六號 外務部第五番
仁川支那街
支店
村谷石炭部
平安北道義州城內
支店八十八番 電話九十五
電話八十二番 義州城內
義州印刷所

初日以來連日滿員

忠臣藏

假名手本

大好評

感々本夜張りニ御早來願上候

[illegible]

京成堀江通り
野村書店
御堂上ノ電話 〇五

古本 買取

「お叱り願ひます」
「まあ、まあ、何うでも打解けて
おけば、お互の心、寄らぬで結構
」、それはさうして、昨夜、
よつと棒から出て来たが、會
社の都合で朝まで出くさぬ
ぬかき、貴公には變つた話あり
ませぬでじやないか」

康法：申すのは誠に失禮な事です
が私は毎日
◇便通 が善くありません。お
醫師は若し良い方がお解し、當
て出来るなら、薬に代へて健康に
が出来る。其方法を應かて答
ふ事ですが何うも解ける人少い
爲めに云つて致へ下さる方、
云ふのは毎朝洗滌の後直に合
水に食鹽をコヒー匙に三、四粒
入れて、二、三次、飲べば、

其夫人が其妻と平等になる事、好
まな、解りである云つて置た
國で、婦人家政權は未だ充分確
て居ない見ゆます

○不考地。 せり 男
生ゝ死ぬる、明かりに關れぬ
うまれたる、小きなむくろ
にふし、一月、不朔
空はたれぬ、とは深に、

折に生みの
 離れた後被
 着て二箇目の
 着やうにな
 るが、自分がお
 なを穿たずには
 一箇に要はあつ
 ても、なまぬ仲の
 白粉には秋の水の
 白くは小さ。

するに其後凡そ一時間は胸が惡く
何と云ふ云ふ不快な氣分になり、
その間は病人のやうになりまが、
斯うして後便通の斷無に陥らず僅
所に暫く居る

○習慣　を續けるに其後は毎
日よい合に胃腸が掃除されて僅
か一時間苦痛の後は今度は何と
も云へぬ快よい氣分になつて夏

凍むにたる體。
小さなむろ、さぐのき器、い
がへ熱う、絶對なりき、他方本
一筋のまなざし、空はたゞれぬ、
こは深し。

むくの叫べり
凍むにたる體き。
闇のプラチナの夜。
(廿八・廿六)

旅
公讀主

うした事柄で、
の女親の憂を知
るお寛子は、こ
の姉妹家へ繰付
き、母らしい識
見に治する事が
出来た。

云つて、岸上
へ廻せり。幸枝々
は、せねし。假

大變に甘味しくなりました、尤も
私には法を取つてから肉食は禁
して二食まで居りますがいつと

津村兄弟商會

京阪本町堂電話一四八〇番

津村兄弟商會

渡舟待つ間わびしき夕空にこひ
し人をふさ思ふ哉
潮鳴の何さは知らず身に染みて
淋しの雲のたゞやまの
二月月の夕潮ひる宿にして都は
らばる君れもふかな
越方の五重の山はうすづきて行
手の海に月のはめく

柳の實の落つる腰に旅人のふり仰
ぎに哀しむ



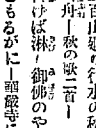
大正十一年に
 演じた『浮城物語』は、大成功を
 収めた。その後も、この好
 むだけには、真心の
 ある演劇を畫して
 往々に申さなけれ
 ばならぬと、こゝへ思
 へる。

斯ういふくしを
 得ておうちに、靜

食事の不快いと思つた事があつても、
せん而して此方法によつてからは
殆んど所氣をした事もなく毎朝尿
まつて便通があるので終日憂鬱の
上合が晴れてさして居ります。私
も最初は幾分苦痛を思ひましたが何れも

◇健康 の爲めだと思つて最
う三年間も続けて居ります。醫者

紅雲集五言山廻り行水の秋靜か
一ム下川舟一枚の歌云一
旅の子の仰けは淋し御佛のやさし
眉も秋さるかに一面嚴にてー



京 日報柳壇

厄介な南京虫と北で云ひ似境
京敵り稱に例合はぬ口持若嶺訪

[illegible]

い「さういふお話もございました。
絶へども今日會社へお出ましますつ
に御様子で……急に旅行するかも知れぬが、さうのやうにも何ひ
け」
ゆ「それで仲の言ふのは、貴女のお體
さへよければ是非とも諸君連
行へば可いと思つてゐる。さういふ
は、女に對しては、男に對しては、
運動が不足で且つ便秘が非常に
悪いものであるから婦人には是非禁
行して頂きたい思ひます」

英國でも
女の内氣な者

參政權が徹底しない
の候補者は勿論であるが、婦人へ
對する態度と我々が持つて

川原の字に京人影も古び、
大石を頼むと見えし京道
京人影の顔で轡子をひく。
寄倒れし樂の叔父を食問ひ
望遠鏡を執る東京へ帰る
東居た丁三枝か梅庄
同東京に歸れる電車見折、同

今日の御訪來
◆監獄の要請を以て時限満了を無
効とする。又、昨午、府下各所を巡

加沙市 立坪 志津 鋸花坊

するも方、この先たも愛しい婆
 ちの前の、こんな無理を言ひつけ
 られたら、いけません。さうした折に
 ば、わしが何うとも權をこら
 へませんが、貴女は決して惡く思は
 ない、さうぞ辛抱をして下さいよ
 ちの代り、わたしが附いてゐるう
 ちは、仲良く、わたしが附をおかす
 悪い方は、さまで、善く、悪いし
 へば叱、いひますから……ひ
 さまに呼んで、お母さんのこ

[illegible]

ト漁復活前途

咸亨新案に多年の経験をもてるサマ
氏の談を聞くに近時手荒れに於て

[illegible][illegible]

を與ふるであらうと思ふのです。

事實が証明 何と云つても事實は其總てを

時には速かにハカリ印のヘブリン丸をお用
ゐるが第一です。
(定價十錢以上、家庭用、五十錢壹圓)

本舗 大阪北濱 合資會社 **參天堂藥房**

電話本局二〇四番、二〇五番

方劑は盡く其長を取り短を捨て、資料に供
 し從來の經驗に加ふるに新しい智識を活用
 して、何でも良藥を研究して居るのです
 から、名は依然たるハカリ印のヘブリン
 丸ではあるけれども其實質に至つては其進歩
 にごまなはれたる所謂理想的新藥で、其
 奏功の美事なる點に於ては何人にも御満足

せられ、一時は世上を驚かし恐怖せしめた
 る流行性感冒の流行た際にこのハカリ印の
 ヘブリン丸が偉大なる効を奏した事は服用
 せられたる諸士の等しく實驗せられたる處
 です

嚴寒の此頃、恐るべき流行性感冒が又復流
 行掛けましたから少しでも其氣味があつた

はカアン・ヘツブ両先生の發見に係る主藥を採用して發賣した處が忽ち其効驗が評判となつて、社會から信用せられ、感冒藥としては唯一無二の權威を得たのです。

醫藥學の進歩 醫學や藥學の進歩は實に速いものであるから、此ハカリ印のヘブリン丸も

種類の夥だしい事は實に枚舉に遑あらずと雖も、ハカリ印のヘブリン丸はまづ物に譬ふれば老松の天を摩するが如く一頭地を抜いて、其需要の旺盛なる、產出の巨額なる、頒布區域の廣大なる等の事は、容易に他から眞似の出來ぬ處です。

ヘブリン丸

此藥は創製以來三十
物語るもので、世上に感

FERRINI PR

[illegible]

維新例仁川 熊町一丁目組東區會七三番

[illegible]

廿五元
廿四元
廿三元
廿二元
廿一元
廿元
十九元
十八元
十七元
十六元
十五元
十四元
十三元
十二元
十一元
十元
九元
八元
七元
六元
五元
四元
三元
二元
一元
零元

漢羊黃王中又



三九壯相

服胃肝腎
世傳家藏
解渴消痰

精老
力減
退衰

ヒソ
ボコ
ンリ
ア!

模範牛乳
李主顧用御
二ウソ
洗石
婦人病特藥
向藥折價購全乳粉最備藥なり
主顧効
二生乳器病

追而修築是月五日
後四時長閑宅代
て式を以て執行し
男正八年二月四日

男本多憲千代
男中山千頼
男本多親宗
同本多重人
同本多大久保雅彦
同星田正一郎

父濯儀豫而不
氣の處養生不
相叶本月一日
午後十時死去
教候右御報申